

令和元年度の森林環境譲与税に関する決算状況一覧

事業区分	事業名	事業総額（千円）		事業内容	実績	税導入の効果
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち他の財源（千円）			
人材育成・担い手	ふくい林業カレッジ研修事業	18,256	18,256	将来の福井の林業を担う若い人材を育てるためのふくい林業カレッジの運営	・研修生6名を育成	<p>【事業の成果】</p> <p>県の森林環境譲与税は、林業カレッジの運営など林業の担い手確保・育成に活用した。令和元年度においては、林業カレッジの研修生が林業事業体に就業し、年間の新規林業従事者は目標とする20名の約1.7倍である34名となるなど担い手の確保に寄与している。</p> <p>【詳細】</p> <p>県は市町を対象とした5つの地域協議会の開催や地域林政アドバイザーを雇用し市町に派遣することにより、全国の優良事例の紹介や具体的な事業提案を行うなど、市町の森林整備が進むよう継続的に助言・指導を行った。市町の譲与税は、森林管理を進めるための意向調査に活用されており、令和2年度には民家に近い森林での間伐など地域の実情に応じた森林整備が10の市町で計画されている。また、一部の市町では、譲与税を契機として市町における森林・林業の基本構想が作成されており、今後は、市町の実情に合わせた森林管理を進めることができると考えている。</p> <p>残額は令和2年度の人材育成・担い手対策に使用するため、基金に積み立てた。</p>
	林業従事者安全サポート事業	1,409	1,409	労働安全装備への補助および安全に関する研修を開催	・防護ズボン、空調服、保安帽、防振・耐切創手袋などの購入支援	
	林業事業体パワーアップ事業	9,740	9,740	経営診断などのソフト支援および木材搬出作業の効率化や生産拡大のためのハード整備に支援	・グラップルのアタッチメント、運搬トラックの改良、無線機などの購入支援	
	森林資源活用支援事業	7,790	7,790	自伐林家や特用林産物生産者等が森林の適正な維持管理を目的に行う取組に必要な経費に支援	・林内作業車、ポータブルウインチ、植栽用苗木、鳥獣害対策資材などの購入支援 ・林業関係者の情報交換等支援	
市町支援	市町森林整備推進支援事業	681	5	676	地域協議会の開催や市町からの相談対応として地域林政アドバイザーを派遣	・県内5地区で地域協議会を開催（合計8回実施）
	新たな森林管理システム促進事業	4,134	4,134	森林経営管理制度の円滑な運用を図るため森林情報システムを改良	・システムの操作研修会を開催（3回） ・タブレット型端末森林情報システムの操作マニュアルを市町等に配布	
基金積立		3,279	3,279	翌年度の人材育成等のため基金に積立（事業執行残）		
合計		45,290	44,614	676		